

出すべきではなかった



拓殖大総長の渡辺利夫氏の語「これまで独り歩きしてきた『侵略』という言葉を『事変』『戦争』と併記し、『侵略』が突出しないように印象づけている。『謝罪』は、後の世代にこれを残してはならないと明言し、ここで区切りをつけようとした。これらの点に首相の苦心と、強い意向がにじんでいる。他方、村山・小泉談話を全体として引き継ぐとしてきた以上、『痛切な反省と心からのおわび』を表明せざるを得なかったのだろう。談話を出すべきだったか否かといえは、私は出すべきではなかったと考える」